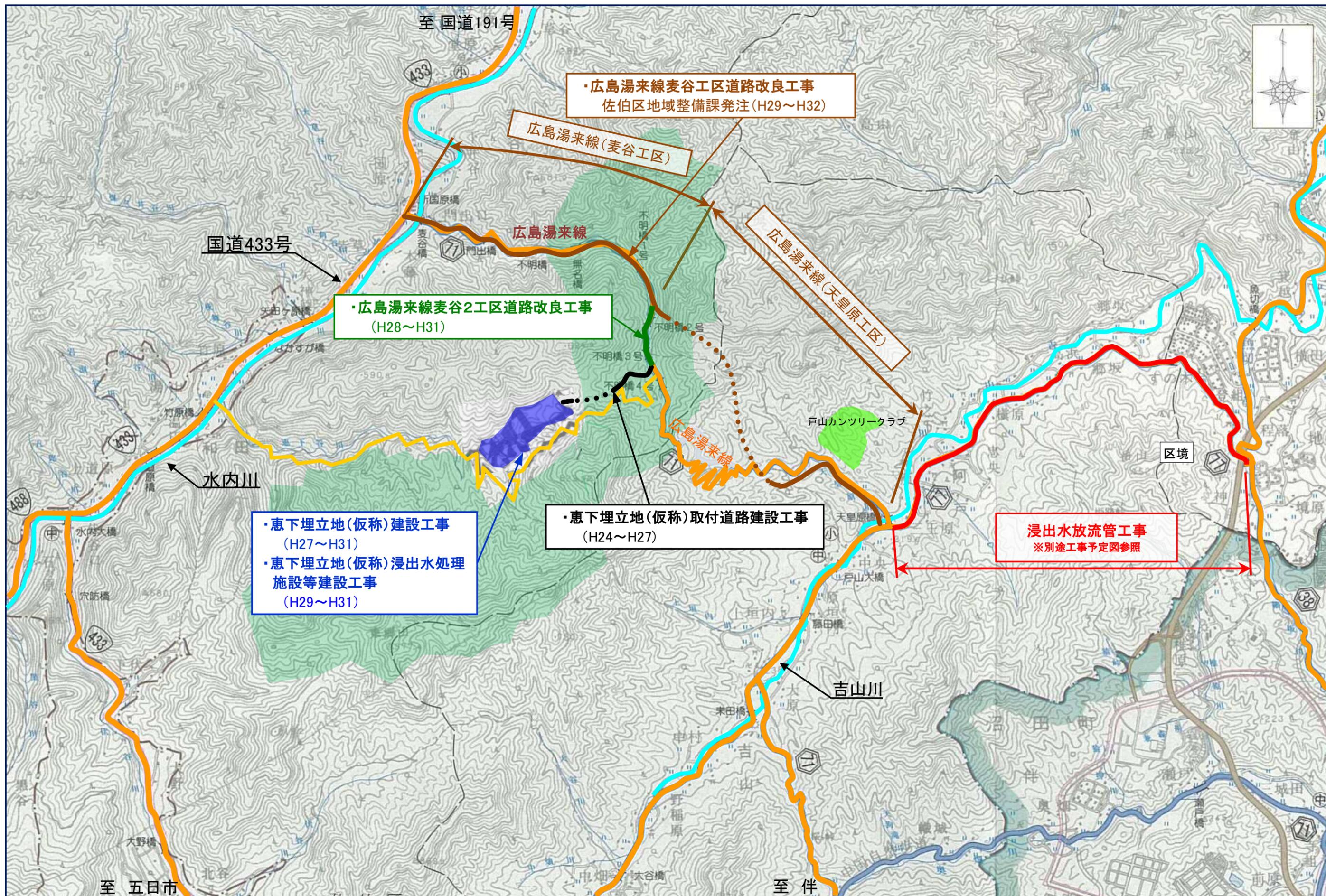


恵下埋立地整備事業位置図

【資料1】

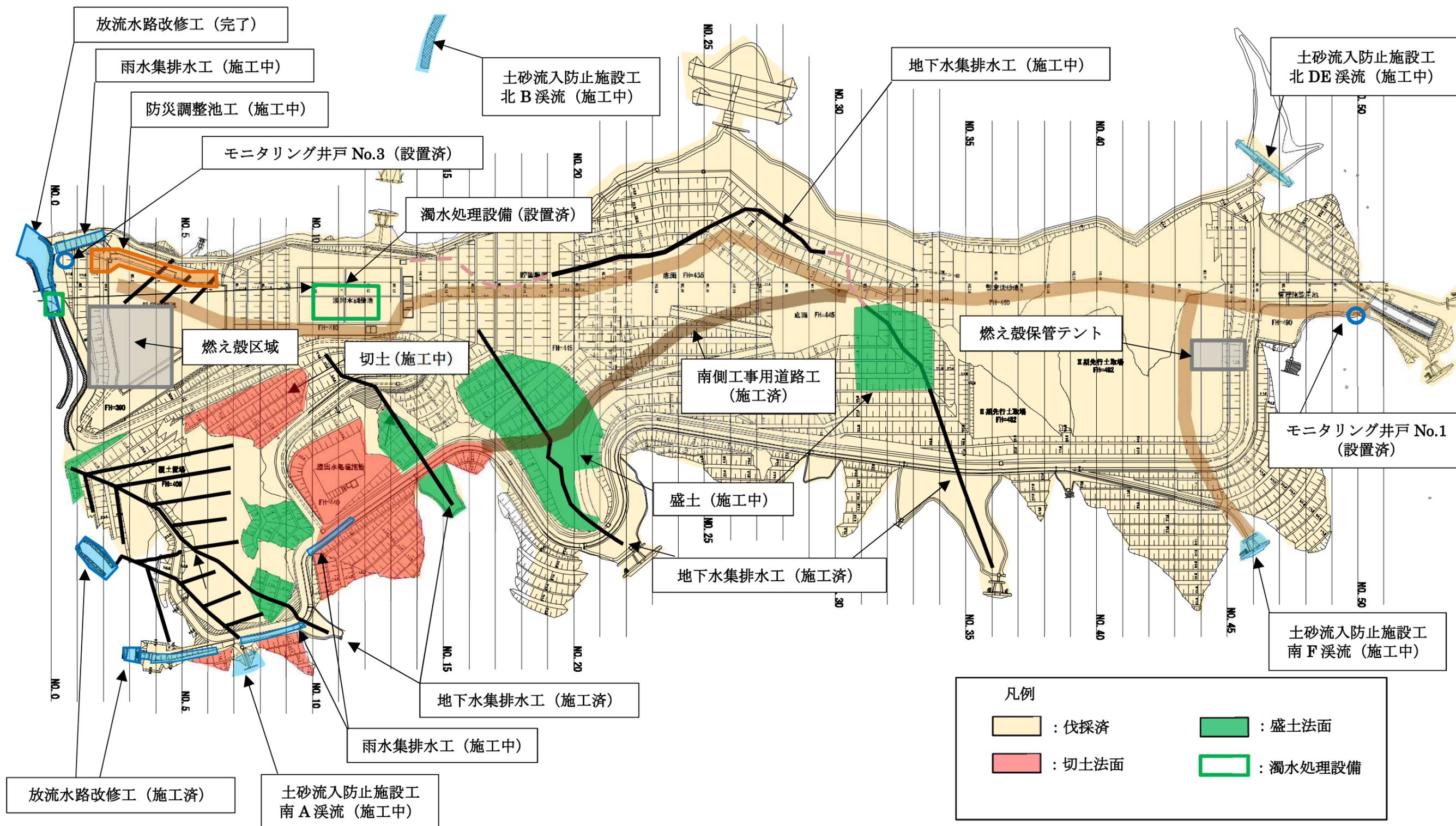


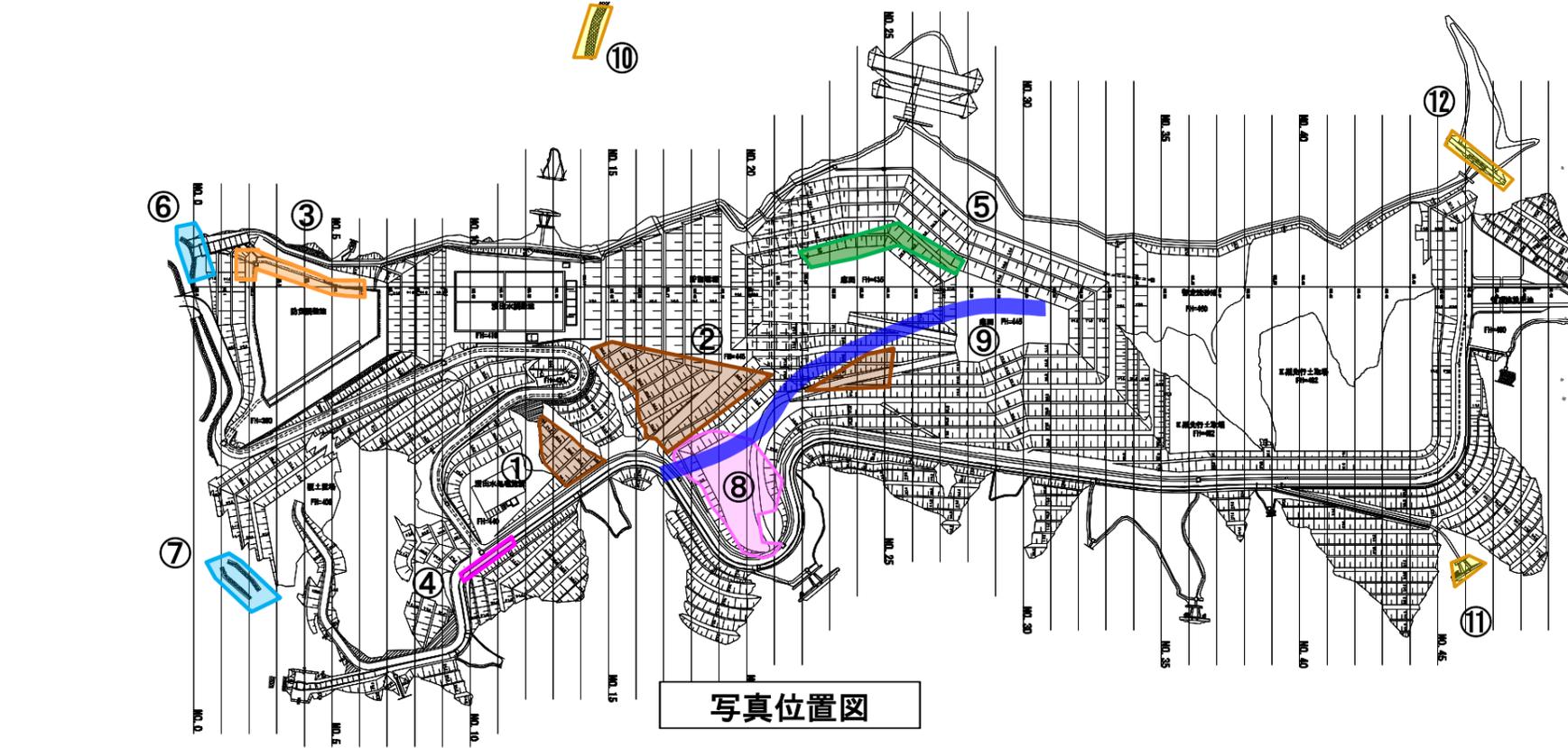
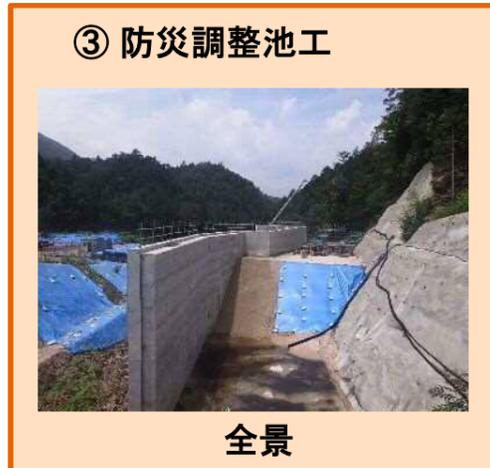
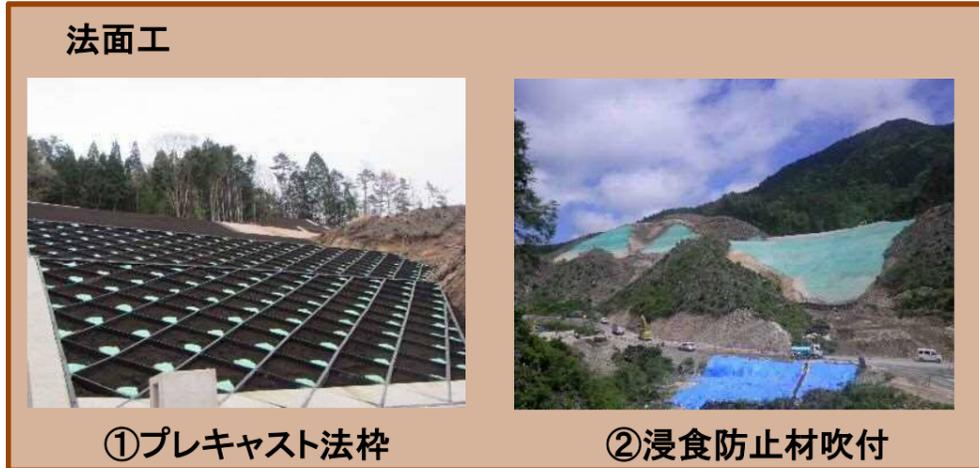
作業状況

工事着手から現在まで以下の作業を実施しています。（平成28年5月～平成30年6月）

作業内容：準備工（伐採工、工事用道路工）、仮設工（仮設沈砂池、濁水処理設備）、

切盛土工、法面工、地下水集排水工、雨水集排水工、放流水路改修工、防災調整池工、土砂流入防止施設工、モニタリング井戸工





恵下埋立地（仮称）建設現場における燃え殻の撤去作業状況について

《一次掘削区域》（平成29年9月頃撮影）

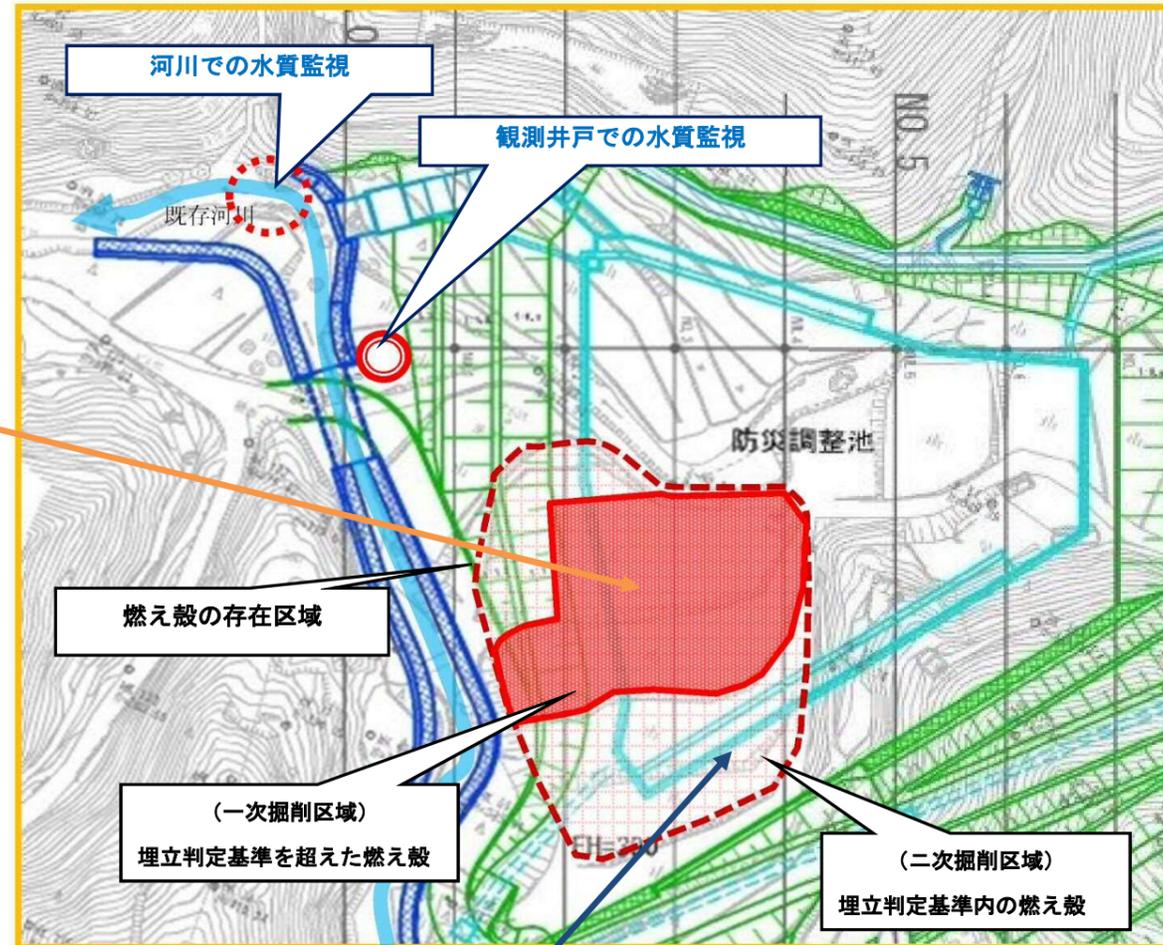


《一次掘削区域》（平成30年6月頃撮影）



5月末に埋立判定基準を超える燃え殻の掘削作業が完了し、6月上旬より掘削用テントの解体を行いました。

《燃え殻区域の位置図》



《二次掘削区域周辺の状況》



二次掘削が完了した後、燃え殻区域全体の土壌汚染調査を実施します。

《一時保管テント内》



テント内に保管していた、一次掘削区域の燃え殻とがれき類の搬出は6月末に完了しました。現在、燃え殻の廃タイヤなどが残っていますが、7月末には搬出が完了する予定です。

《二次掘削区域での作業状況》



現在、埋立判定基準内の燃え殻の撤去作業を行っており、掘削にあたっては、一時的にシートをはがして掘削し、搬出にあたっては、飛散防止対策及び漏水対策として蓋付きの水密ダンプで搬出しています。

《蓋付き水密ダンプ》



【資料4】

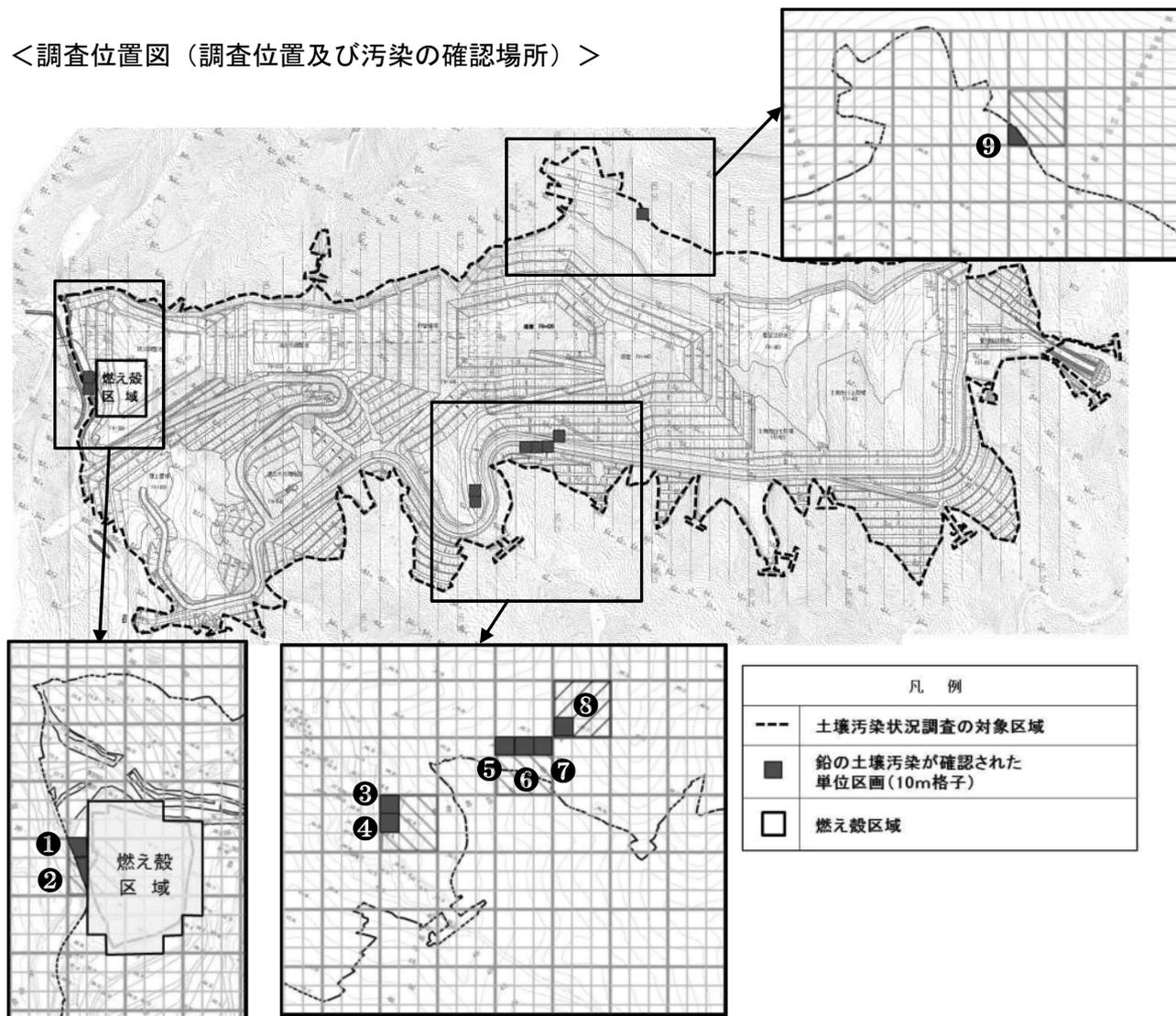
平成30年5月
環境局 施設部 恵下埋立地建設事務所

恵下埋立地(仮称)の工事区域内における土壌汚染の詳細調査結果について

平成29年6月末から実施した鉛の土壌汚染状況調査により、土壌汚染が確認された9区画の内、現在の工事区域外の⑨を除く8区画の深さ方向の汚染状況の調査を実施しました。

その調査結果は以下のとおりです。

<調査位置図(調査位置及び汚染の確認場所)>



<調査結果>

以下の調査結果のとおり、表層土壌より下部の土壌については、①区画で0.8m、③区画で3.2m、④区画で2.0mの深さで汚染の基準を超過しました。

それ以外の5区画については、表層土壌の下部での汚染は確認されませんでした。

【調査結果一覧表】〔調査項目：鉛の土壌溶出量(基準：0.01 mg/L以下)〕

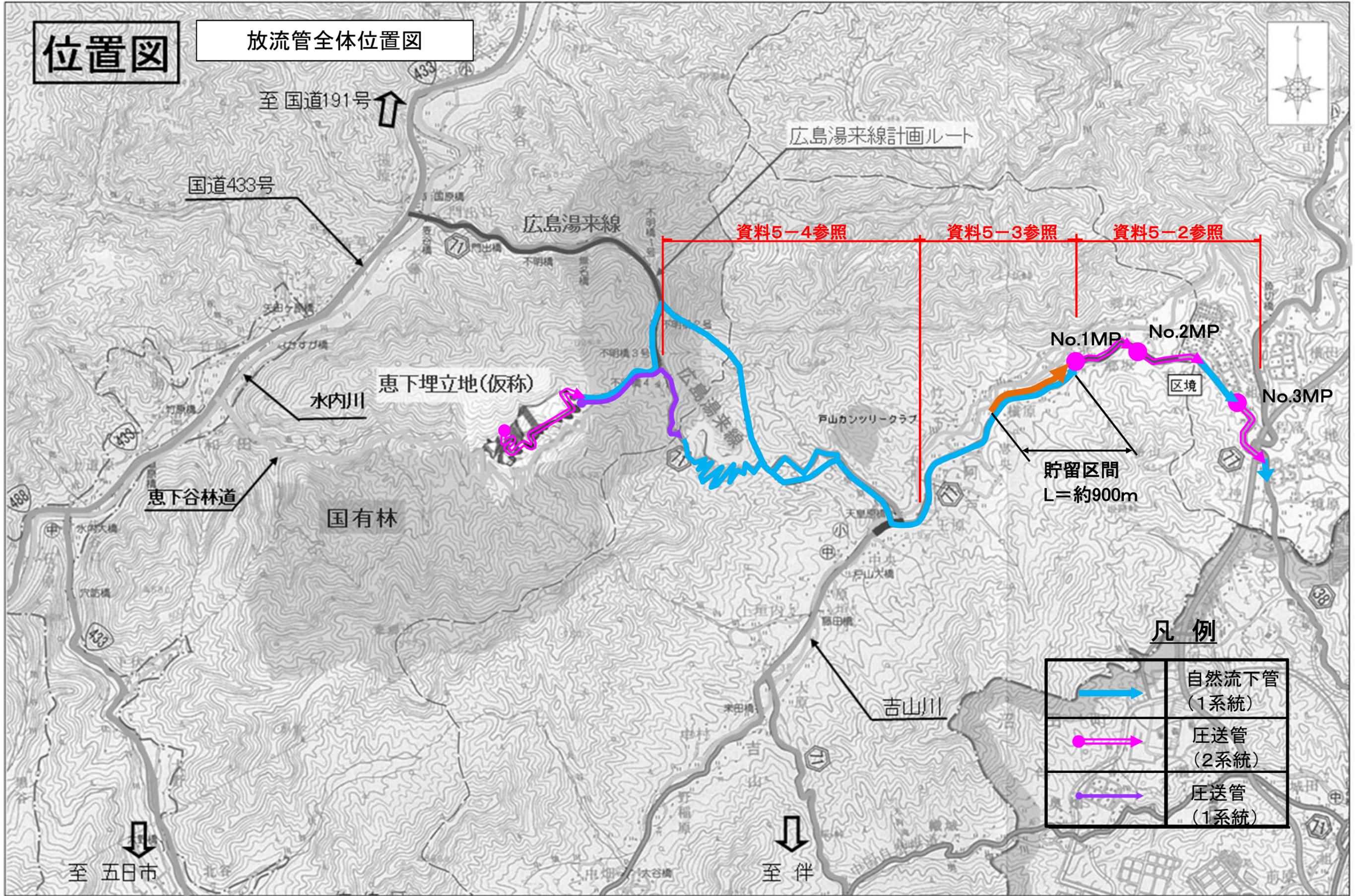
(単位 mg/L)

深度	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
表層土壌 (~0.5m)	0.014	0.018	0.030	0.020	0.021	0.023	0.013	0.012
汚染を 確認した 下部土壌	0.026 (深度0.8m)	汚染なし	0.019 (深度3.2m)	0.026 (深度2.0m)	汚染なし	汚染なし	汚染なし	汚染なし

※ は基準超過を表す。表層土壌については、前回の分析値を記載。

位置図

放流管全体位置図



凡例

	自然流下管 (1系統)
	圧送管 (2系統)
	圧送管 (1系統)

至 五日市

至 伴

至 国道191号

国道433号

恵下谷林道

水内川

国有林

恵下埋立地(仮称)

広島湯来線

広島湯来線計画ルート

資料5-4参照

資料5-3参照

資料5-2参照

No.1MP

No.2MP

No.3MP

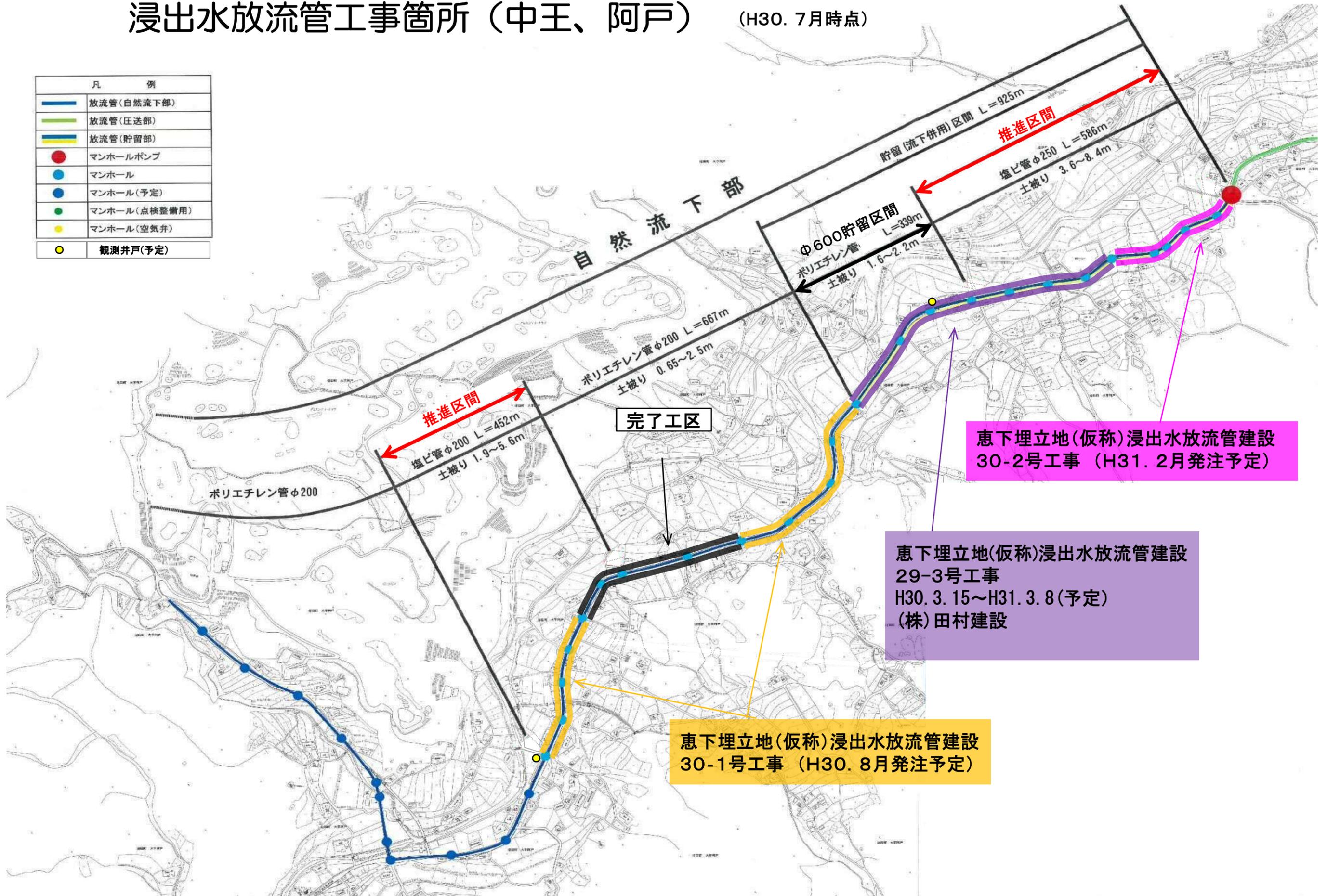
貯留区間
L=約900m

吉山川

浸出水放流管工事箇所（中王、阿戸）

(H30. 7月時点)

凡 例	
	放流管(自然流下部)
	放流管(圧送部)
	放流管(貯留部)
	マンホールポンプ
	マンホール
	マンホール(予定)
	マンホール(点検整備用)
	マンホール(空気弁)
	観測井戸(予定)

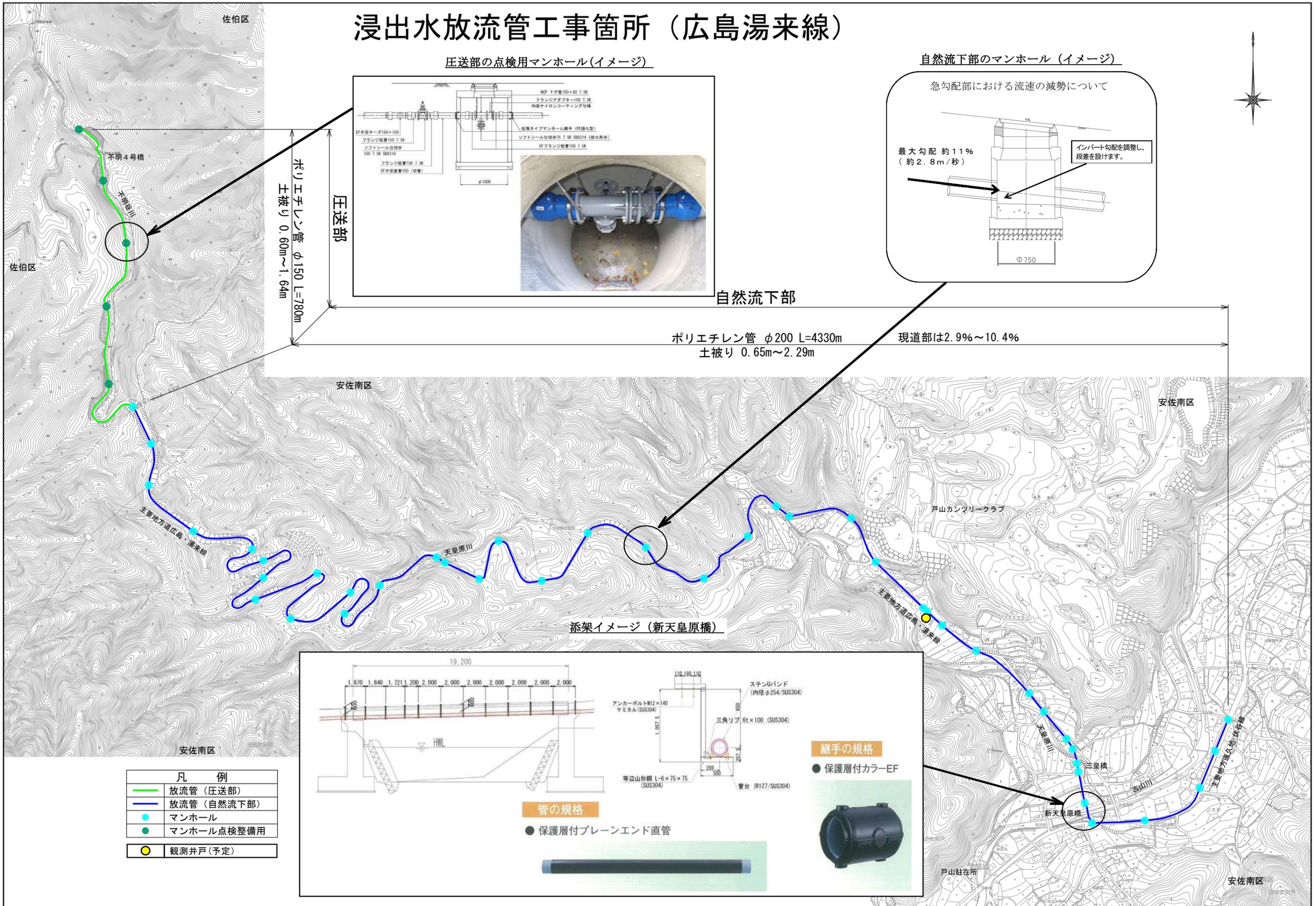


恵下埋立地(仮称)浸出水放流管建設
30-2号工事 (H31. 2月発注予定)

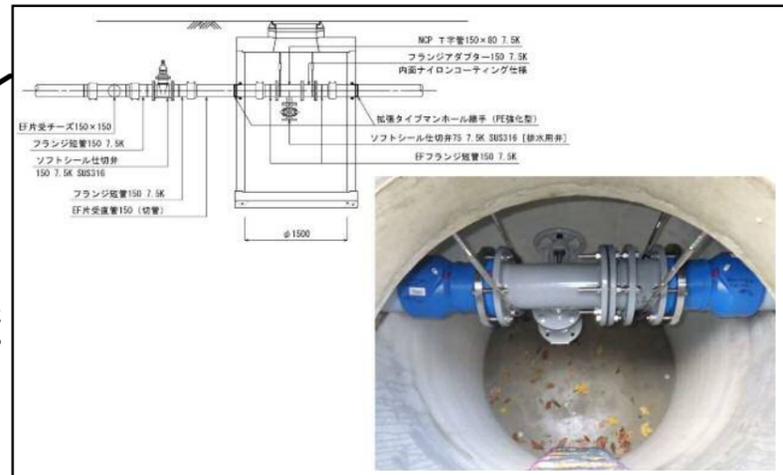
恵下埋立地(仮称)浸出水放流管建設
29-3号工事
H30. 3. 15~H31. 3. 8(予定)
(株)田村建設

恵下埋立地(仮称)浸出水放流管建設
30-1号工事 (H30. 8月発注予定)

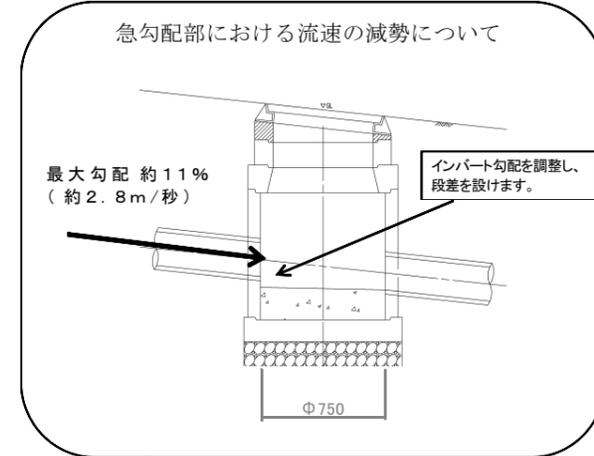
浸出水放流管工事箇所（広島湯来線）



圧送部の点検用マンホール(イメージ)



自然流下部のマンホール(イメージ)



自然流下部

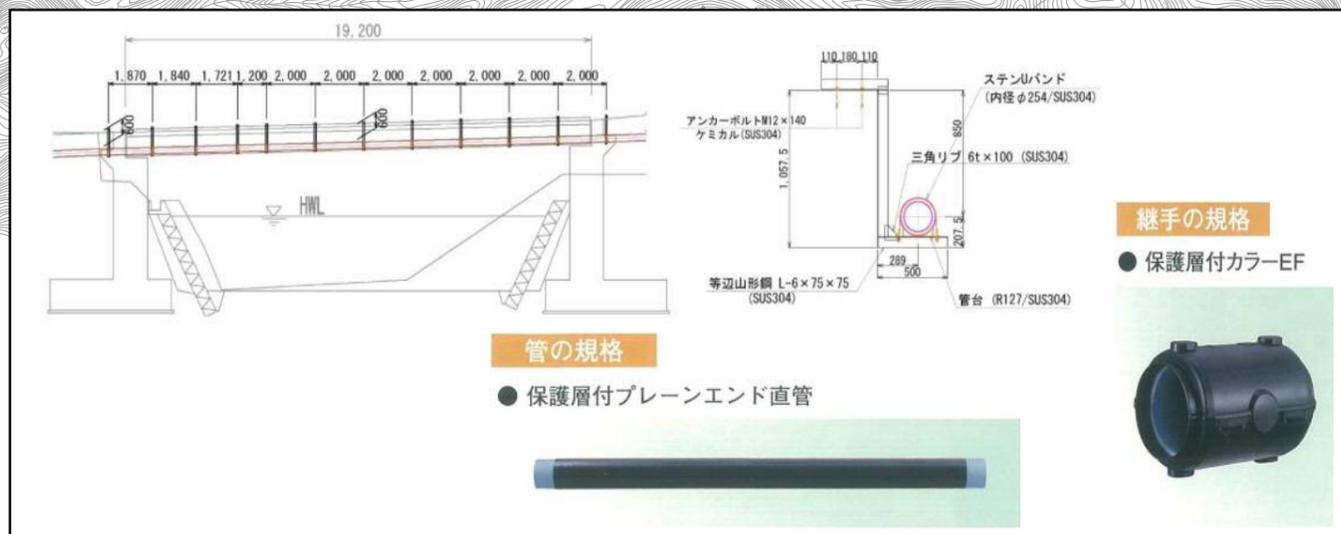
ポリエチレン管 φ200 L=4330m
土被り 0.65m~2.29m

現道部は2.9%~10.4%

安佐南区

安佐南区

添架イメージ(新天皇原橋)



継手の規格

● 保護層付カラー-EF



管の規格

● 保護層付プレーンエンド直管



凡 例	
—	放流管(圧送部)
—	放流管(自然流下部)
●	マンホール
●	マンホール点検整備用
●	観測井戸(予定)